

トツキ株式会社
2007年6月期 決算説明会

2007年8月23日(木)



JASDAQ : 9813

目次

決算ハイライト	3
来期の見通し	13
中期の見通し	16
補足資料	24

決算ハイライト

損益計算書

(単位：百万円)	2006年6月期	2007年6月期	対前年増減 増減額
売上高	13,800	7,194	-6,605
売上総利益	1,659	-1,002	-2,661
(売上総利益率)	(12.0%)	(-13.9%)	—
(販管费率)	(10.8%)	(17.1%)	—
営業利益	165	-2,238	-2,403
(営業利益率)	(1.1%)	(-31.1%)	—
経常利益	135	-2,347	-2,482
当期純利益	-154	-4,776	-4,621

貸借対照表

(単位：百万円)	2006年6月期	2007年6月期	増減額	主な増減要因
資産合計	14,985	8,730	-6,255	
流動資産	10,450	4,872	-5,578	受取手形・売掛金減少、たな卸資産減少
固定資産	4,534	3,857	-676	長岡工場売却・役員生命保険一部解約
負債合計	11,237	7,593	-3,644	
流動負債	7,974	5,114	-2,859	支払手形及び買掛金減少、短期借入金減少
固定負債	3,263	2,478	-784	長期借入金減少
純資産合計	3,747	1,136	-2,610	資本金・資本剰余金増加、利益剰余金減少

(単位：百万円)	2006年6月期	2007年6月期	増減額	主な増減要因
設備投資額	131	130	-1	
研究開発費	458	241	-217	テーマの絞込み
減価償却費	256	246	-10	
従業員数	211	193	-18	

連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)	2006年6月期	2007年6月期	要因	
営業活動による キャッシュ・フロー	-3,477	1,142	当期純損失 仕入債務の減少 たな卸資産評価損 売上債権の大幅減少	△4,634 △1,608 2,205 3,972
投資活動による キャッシュ・フロー	-166	315	役員生命保険一部解約 長岡工場売却	350 245
財務活動による キャッシュ・フロー	3,303	188	短期借入金 長期借入金 株式発行	△1,260 △765 2,214
現金及び現金同等物 期末残高	1,002	2,649		
現金及び現金同等物 増減額	-339	1,646		

事業別受注高・受注残

受注高

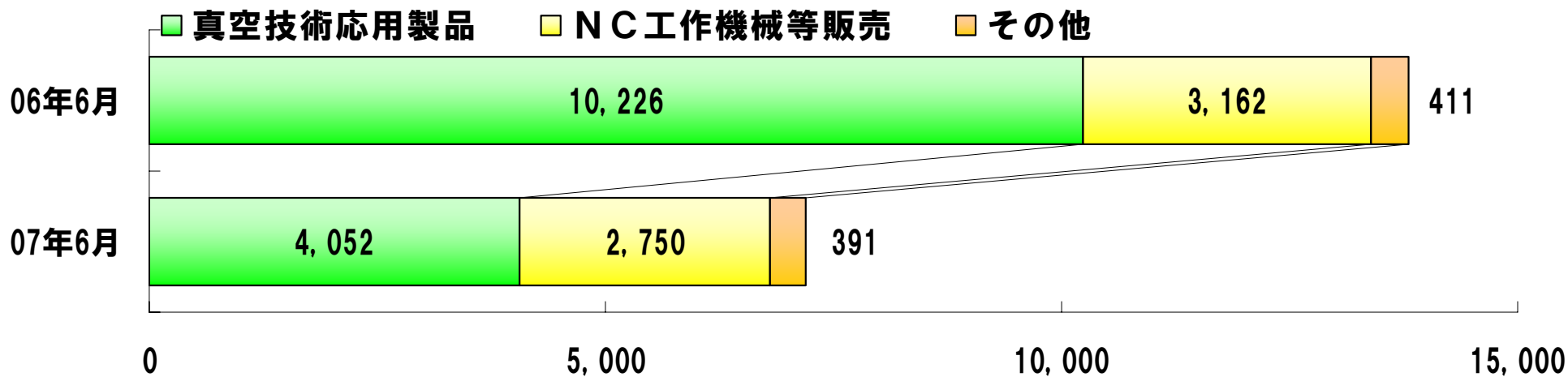
(単位：百万円)	2006年6月期	構成比	2007年6月期	構成比	対前年 増減率
真空技術応用製品	2,989	45.0%	427	12.8%	-85.7%
NC工作機械等販売	3,120	46.9%	2,703	80.8%	-13.3%
そ の 他	537	8.0%	215	6.4%	-59.9%

受注残

(単位：百万円)	2006年6月期	構成比	2007年6月期	構成比	対前年 増減率
真空技術応用製品	5,122	87.0%	1,496	73.2%	-70.7%
NC工作機械等販売	564	9.6%	517	25.3%	-8.3%
そ の 他	204	3.5%	28	1.4%	-86.2%

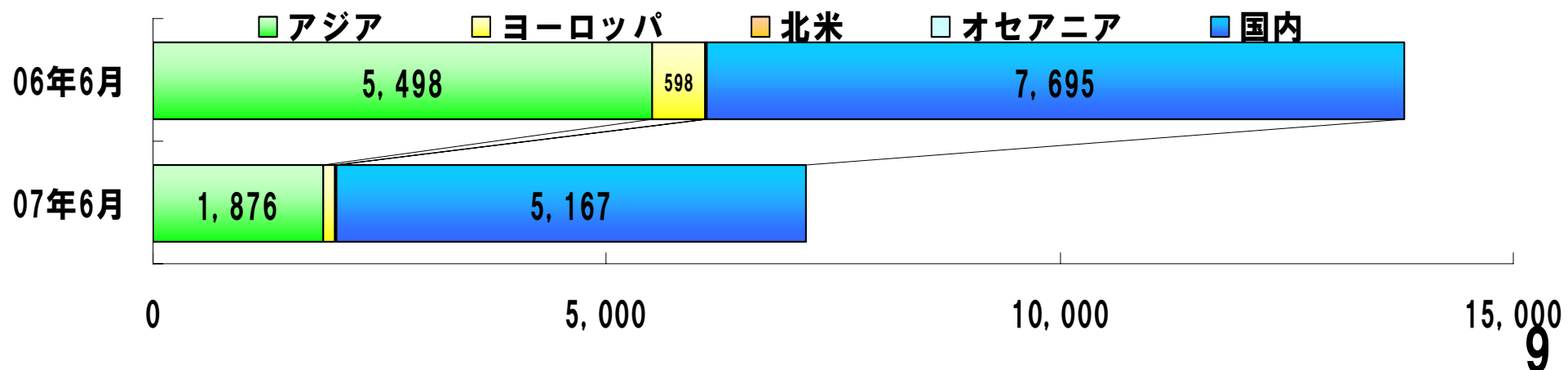
事業別売上高

(単位：百万円)	2006年6月期	構成比	2007年6月期	構成比	対前年増減率
真空技術応用製品	10,226	74.1%	4,052	56.3%	-60.4%
NC工作機械等販売	3,162	22.9%	2,750	38.2%	-13.0%
その他	411	3.0%	391	5.4%	-4.8%



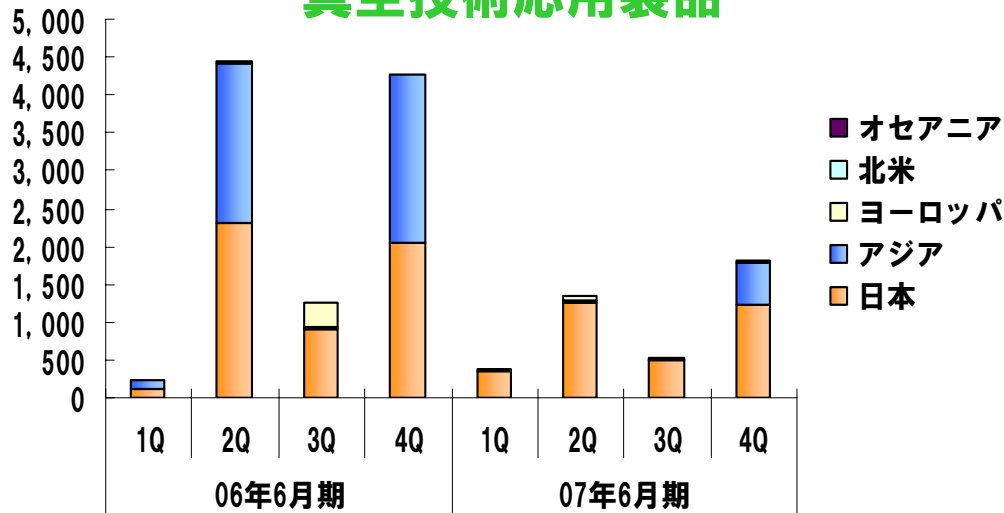
地域別売上高

(単位：百万円)			2006年6月期	構成比	2007年6月期	構成比	対前年 増減率
ア	ジ	ア	5,498	39.8%	1,876	26.0%	-65.9%
ヨ	ー	ロ	598	4.3%	122	1.6%	-79.6%
北		米	5	0.0%	28	0.4%	460.0%
オ	セ	ア	1	0.0%	—	—	—
国		内	7,695	55.8%	5,167	71.9%	-32.9%

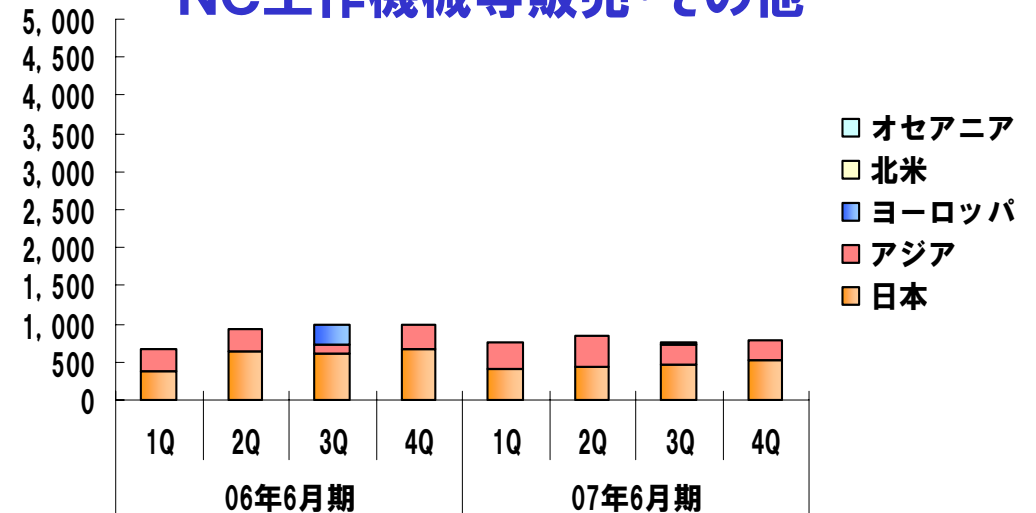


四半期別・地域別売上高

真空技術応用製品



NC工作機械等販売・その他



真空技術	06年6月期				07年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
日本	110	2,302	917	2,039	356	1268	484	1,239
アジア	132	2,110	32	2,233	17	8	17	558
ヨーロッパ	0	28	310	7	1	63	4	8
北米	1	4	0	1	0	1	28	0
オセアニア	0	0	0	0	0	0	0	0

NC工作・他	06年6月期				07年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
日本	391	631	623	683	398	437	458	527
アジア	277	301	116	297	361	400	259	256
ヨーロッパ	1	8	245	0	11	0	35	0
北米	0	0	0	0	0	0	0	0
オセアニア	0	0	1	0	0	0	0	0

特損の発生(単体)

➡ たな卸資産評価損	
➤ 台湾2社の出荷停止	1, 224百万円
➤ 受注案件の仕様変更	708百万円
➤ 新技術対応装置の費用処理	272百万円
➤ 計	2, 204百万円
➡ 本社事務所移転費用	53百万円
➡ 合理化費用	27百万円
➡ その他	8百万円
➡ 総計	2, 293百万円

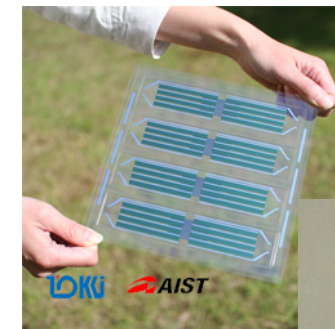
2007年6月期の施策

技術面

- ▶ 薄膜太陽電池製造装置の開発・製造
- ▶ GEとの膜封止技術及び装置の共同開発・商業契約
- ▶ 大型基板用有機EL製造装置の開発

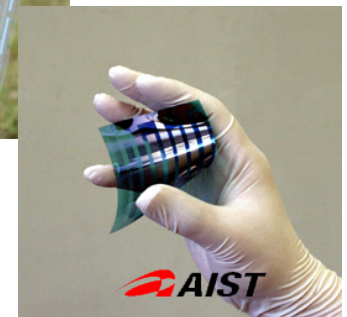
営業・経営面

- ▶ エクイティ・ファイナンスの実施
 - メリルリンチ日本証券株式会社
3,083,000株 12億65百万円
 - ドイツ銀行ロンドン支店
1,600,000株 9億49百万円
 - 合計22億14百万円の資金調達



産業総合研究所と共同開発した20cm太陽パネル

曲げられる太陽電池パネル



2008年6月期の見通し

2008年6月期の施策

➡ 受注活動強化

- 技術と営業の組織統合
- 新商社チャネルの開拓
- 海外重要顧客への直販体制の確立

➡ 経営の抜本的な改革

- 資本・業務提携を含む戦略的事業提携の推進
- 新経営体制

➡ 固定費の大幅削減

- 取引先への30名強出向により固定費の一部回収
- 役員・従業員の給与カットと自然減への未補充拡大

➡ 事業バランスの是正

- 薄膜太陽電池製造装置事業の拡大
- 電子部品製造装置事業の拡大
- 受託生産事業の立上

2008年6月期通期業績予想

(単位：百万円)	2007年6月期	2008年6月期	増減額
受注高	3,346	10,161	6,815
売上高	7,194	7,916	722
売上総利益	-1,002	—	—
(売上総利益率)	(-13.9%)	—	—
(販管费率)	(17.1%)	—	—
営業利益	-2,238	123	2,361
(営業利益率)	(-31.1%)	(1.5%)	—
経常利益	-2,347	48	2,395
当期純利益	-4,776	34	4,810

ポイント

受注高 10,161百万円・・・下期から有機EL製造装置・薄膜太陽電池製造装置の受注回復を予測
 営業利益 123百万円・・・売上原価・販管費の大幅削減により営業黒字化
 当期純利益 34百万円・・・前期に特損処理したため、特損見込まず

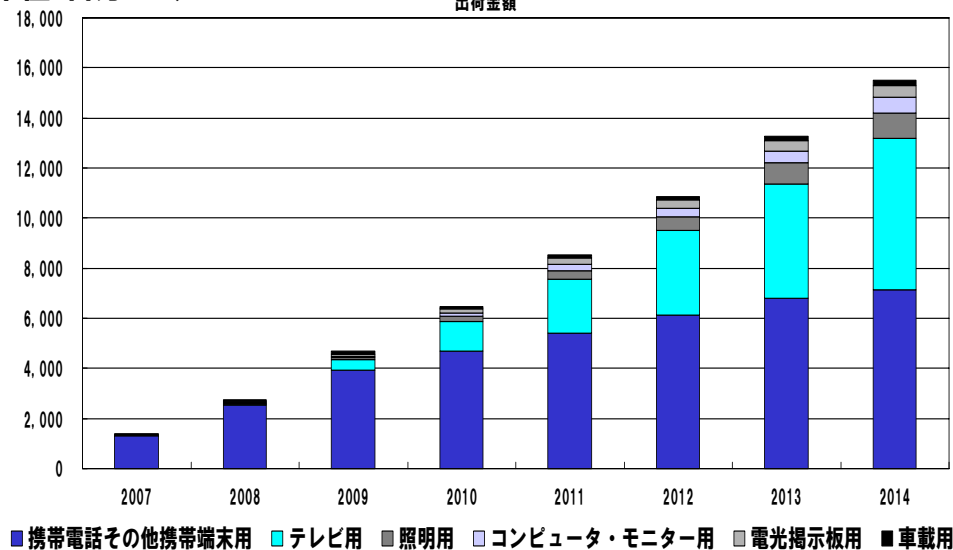
中期の見通し

(08年6月期～10年6月期)

市場動向(有機EL市場)

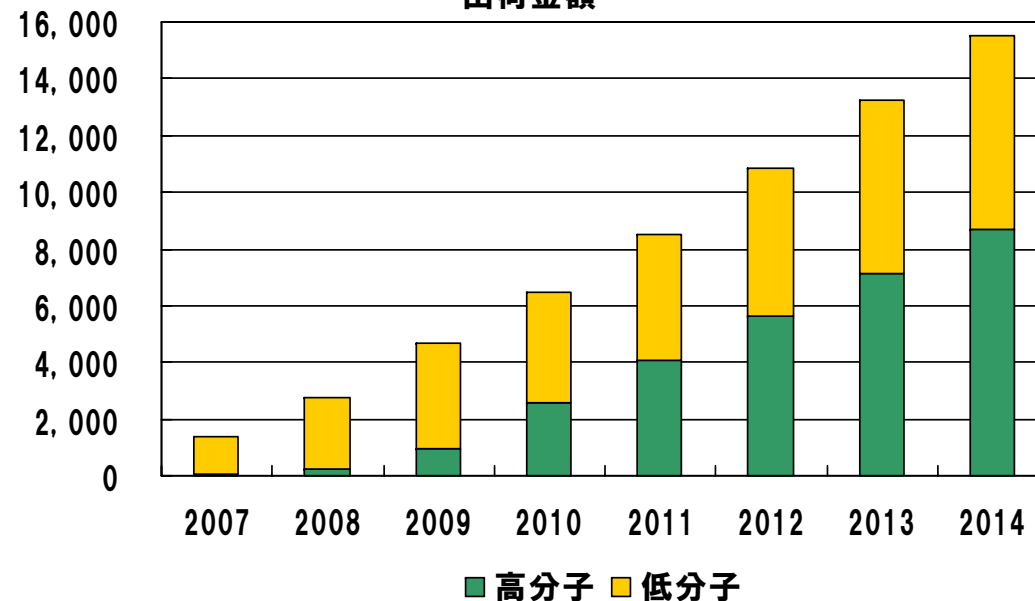
(単位:百万ドル)

出荷金額



(単位:百万ドル)

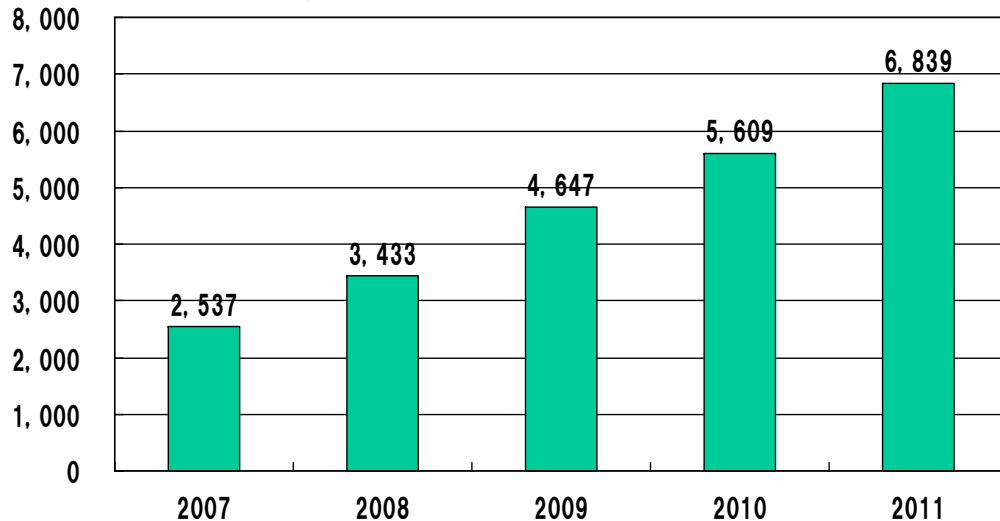
出荷金額



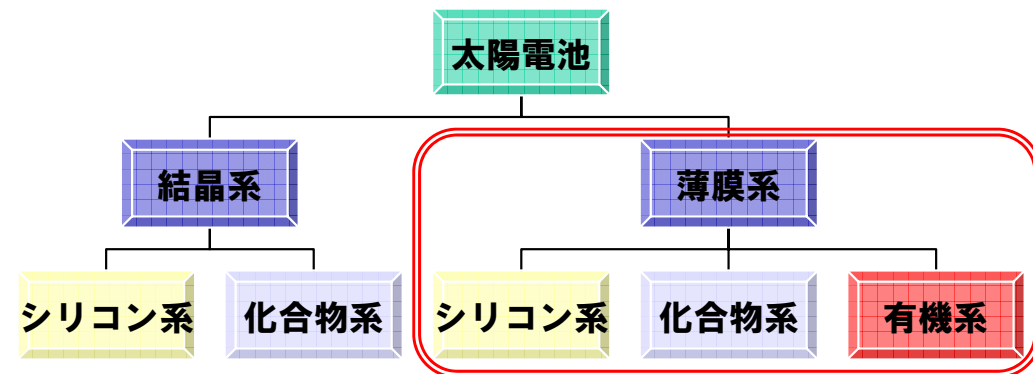
出典: NanoMarkets, "OLED Markets: 2007 & beyond", Feb., 2007

太陽電池市場と薄膜太陽電池製造装置

太陽電池生産量
(単位:MW)

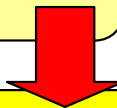


出典: "Solar Generation", Greenpeace and EPIA, Sept., 2006



現在主流のシリコン太陽電池

- ・発電コストの課題
- ・資源供給的な課題



省資源・低環境負荷な太陽電池を目指す

- ・素材・製造コスト両面からの大幅な低コスト化の可能性
- ・塗布技術を基盤とした低コスト製造プロセスなど

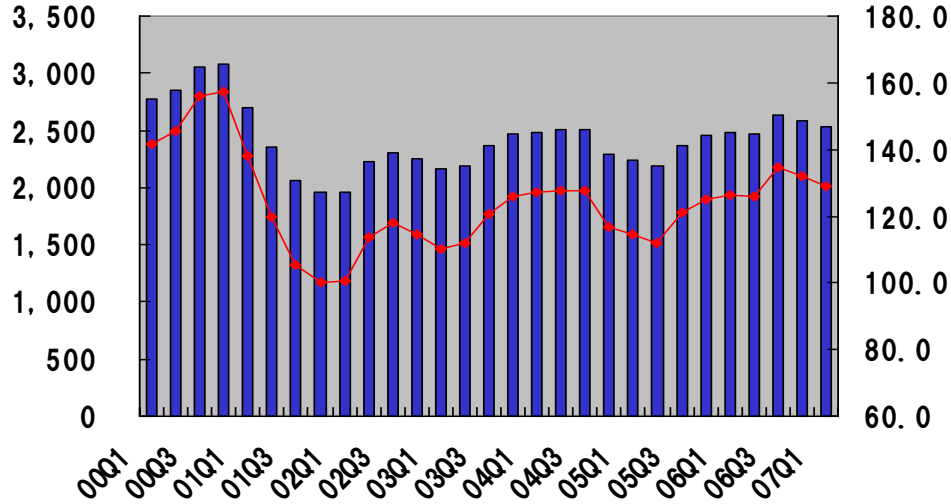
薄膜系太陽電池製造装置のメリット

- ・シリコン不使用・ガラス基板
- ・新技術研究が活発
- ・環境に優しい
- ・製造コストが低い(ガラス基板)
- ・安価 大型パネル化が可能
- ・今後新技術開発による
エネルギー変換効率の向上

電子部品・水晶デバイスの市場動向

電子部品・デバイスの国内生産額の推移

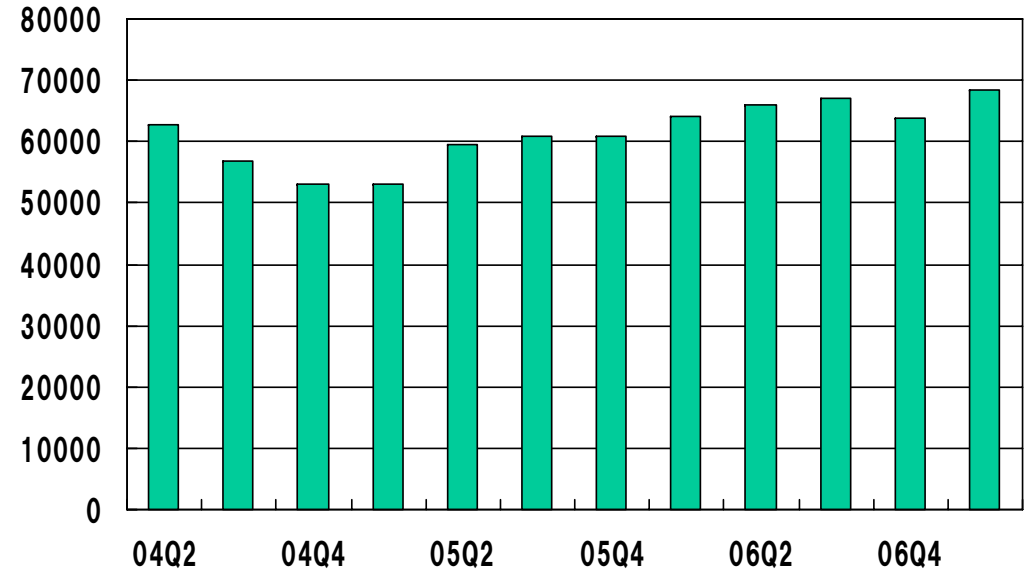
(単位:10億円)



出典: JEITA ((社) 電子情報技術産業協会)

水晶デバイスの国内受注高

(単位:百万円)



出典: 水晶デバイス工業会

電子部品・水晶デバイス向け当社装置

●スパッタリング装置



●高真空アニール炉



●真空蒸着装置



●CVD装置



中期経営方針(平成20年6月期～平成22年6月期)

「財務体質の再構築」の早期実現のために、抜本的経営構造改革を断行する。

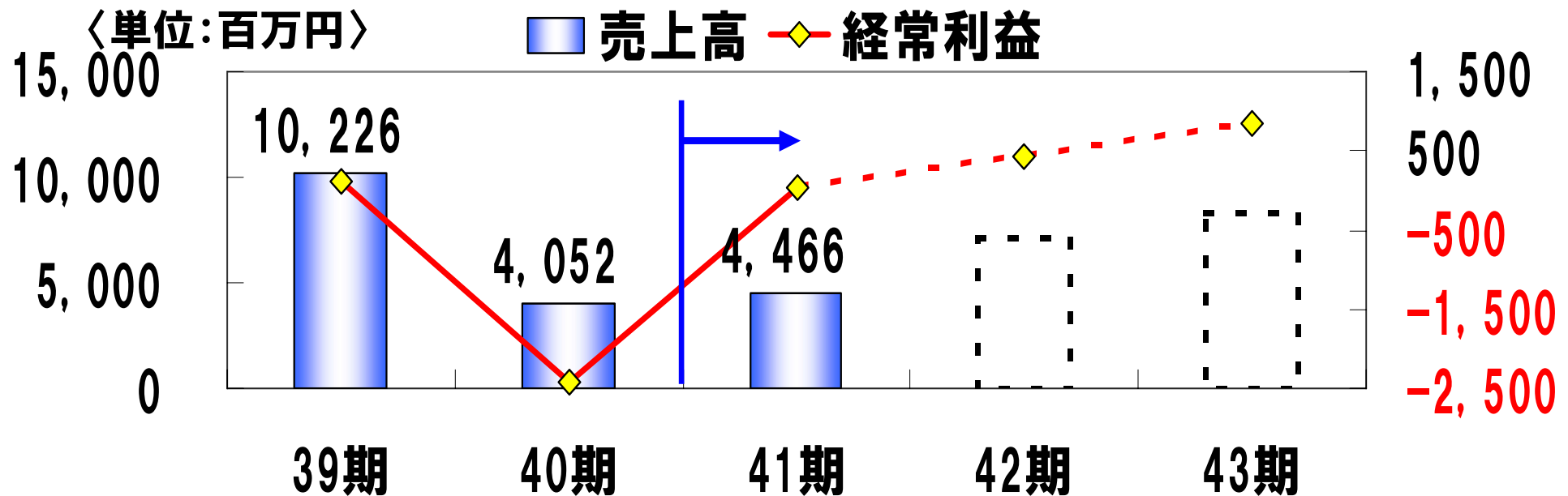
- ➡ **見附工場の稼働率を高めるために、受託生産事業を立ち上げる。**
- ➡ **労務費の軽減のために、一部従業員を取引先に出向させる。**
- ➡ **事業の多角化を進め、安定的利益を確保する。**
- ➡ **事業シナジー効果の高い事業会社との多面的な提携を通じて、
「持続的成長」を実現する。**

中期基本戦略

- ➡ 受注拡大のための営業力強化
- ➡ 固定費の大幅圧縮
- ➡ QCD管理体制の強化
- ➡ 内部統制の機能化
- ➡ 事業バランスの是正
(有機EL・太陽電池・電子部品・受託生産等)
- ➡ 戦略的事業提携

中期業績見通し(単体)

- 中計初年度の41期は売上高44億円、経常利益29百万円を必達
- 最終年度の第43期は経常利益率10%を必達
- キャッシュフローを改善する
 - －固定費削減による現金流出の減少
 - －受注条件の見直し
 - －工期短縮による資金の効率化



補足資料

損益計算書推移

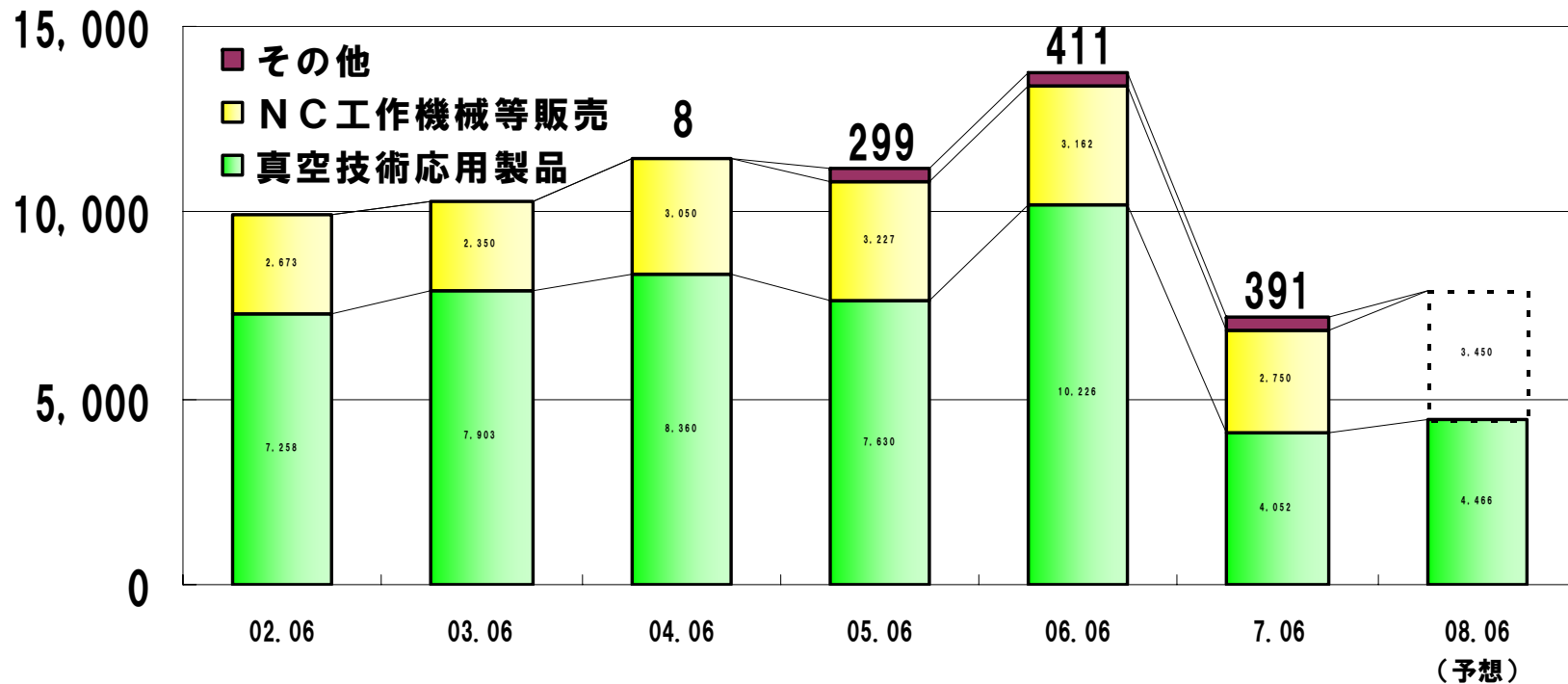
(単位：百万円)	02年6月期	03年6月期	04年6月期	05年6月期	06年6月期	07年6月期	08年6月期 (予想)
売上高	9,931	10,253	11,419	11,157	13,800	7,194	7,916
売上総利益	1,361	1,458	1,718	522	1,659	-1,002	—
(売上総利益率)	(13.7%)	(14.2%)	(15.0%)	(4.6%)	(12.0%)	(-13.9%)	—
(販管費率)	(11.9%)	(10.5%)	(13.6%)	(13.8%)	(10.8%)	(17.1%)	—
営業利益	176	380	164	-1,024	165	-2,238	123
(営業利益率)	(1.7%)	(3.7%)	(1.4%)	(-9.1%)	(1.1%)	(-31.1%)	(1.5%)
経常利益	167	304	131	-1,033	135	-2,347	48
当期純利益	75	167	105	-964	-154	-4,776	34

セグメント別売上推移

(単位：百万円)

02年6月期 03年6月期 04年6月期 05年6月期 06年6月期 07年6月期 08年6月期

		02年6月期	03年6月期	04年6月期	05年6月期	06年6月期	07年6月期	08年6月期
真空技術応用製品	売上高	7,258	7,903	8,360	7,630	10,226	4,052	4,466
	構成比	73.1%	77.1%	73.2%	68.4%	74.1%	56.3%	56.4%
NC工作機械等販売	売上高	2,673	2,350	3,050	3,227	3,162	2,750	売上高
	構成比	26.9%	22.9%	26.7%	28.9%	22.9%	38.2%	3,450
その他	売上高	—	—	8	299	411	391	構成比
	構成比	—	—	0.1%	2.7%	3.0%	5.4%	43.6%



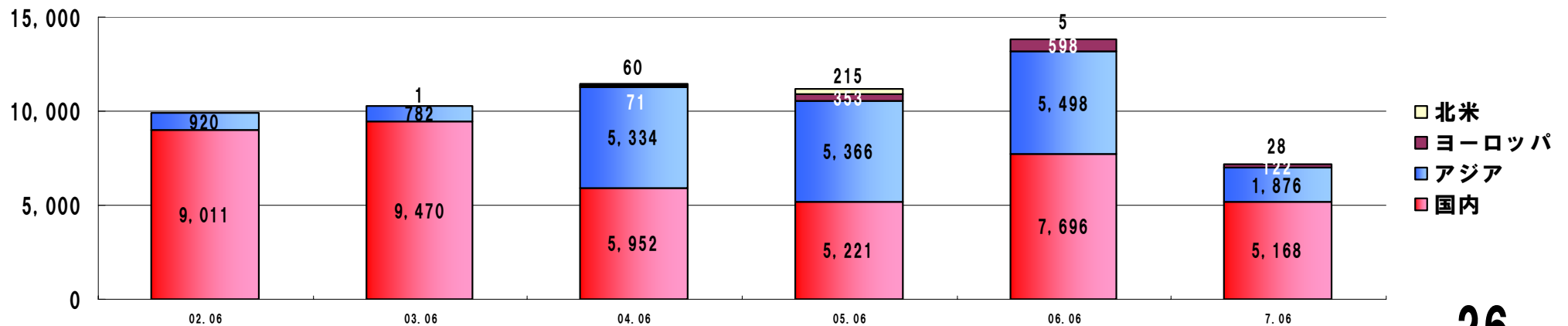
地域別売上推移

(単位：百万円)

02年6月期 03年6月期 04年6月期 05年6月期 06年6月期 07年6月期

地域	項目	02年6月期	03年6月期	04年6月期	05年6月期	06年6月期	07年6月期
アジア	売上高	920	782	5,334	5,366	5,498	1,876
	構成比	9.3%	7.6%	46.7%	48.1%	39.8%	26.0%
ヨーロッパ	売上高	0	1	71	353	598	122
	構成比	0.0%	0.0%	0.6%	3.2%	4.3%	1.6%
北米	売上高	0	—	60	215	5	28
	構成比	0.0%	—	0.5%	1.9%	0.0%	0.4%
オセアニア	売上高	—	—	—	—	1	—
	構成比	—	—	—	—	0.0%	—
国内	売上高	9,011	9,470	5,952	5,221	7,695	5,167
	構成比	90.7%	92.4%	52.1%	46.8%	55.8%	71.9%

(注)地域別売上の区分は、03年6月期までは商社経由のものについては、商社の所在により分類しておりましたが、04年6月期より実質的なエンドユーザーの所在により分類しております。



キャッシュ・フロー計算書推移

(単位：百万円)	02年6月期	03年6月期	04年6月期	05年6月期	06年6月期	07年6月期
営業活動による キャッシュ・フロー	-1,336	91	2,065	-1,488	-3,477	1,142
投資活動による キャッシュ・フロー	-790	-2,517	-784	9	-166	315
財務活動による キャッシュ・フロー	1,539	2,219	628	567	3,303	188
現金及び現金同等物 期末残高	551	344	2,254	1,342	1,002	2,649
現金及び現金同等物 増減額	-587	-206	1,909	-912	-339	1,646

お問い合わせ

トッキ株式会社 広報・IRグループ

TEL : 03-3551-3151

ir-section@tokki.co.jp

本資料について

将来見通しに関する注意事項

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、経済情勢、有機EL・太陽電池市況、販売競争の激化、急速な技術革新への当社の対応力、安全・品質管理、知的財産権に関するリスクなど、様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる可能性があります。

数字の処理について

記載された金額は百万円単位未満を切り捨て処理、比率は百万円単位で計算した結果を切り捨て処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。